

教育委員会広報紙 NO.4

～大淵第二小学校区の学校教育について

令和4年4月16日発行
富士市教育委員会
教育総務課 教育政策担当
TEL：0545-55-2865
FAX：0545-53-8584

富士市立大淵第二小学校の編入統合の方針決定に伴い、3月11日（金）に保護者説明会を、3月29日（火）には地域の皆様方への説明会を実施しました。

両説明会では、参加された保護者の皆様や地域の皆様へ、教育委員会が考える「これからの時代を生きる子どもたちに求められる豊かな学び」や、編入統合に係る今後の具体的な支援策等について、富士市教育委員会の森田嘉幸教育長から直接ご説明申し上げる機会を設けさせていただきました。

日頃より富士市の教育行政への取組にご理解、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

世界がコロナ禍になり、子供たちにとって非常に不自由で、我慢の日々が3年目になります。このコロナ禍はいつまで続くのか、現時点においても先の見通しがつかず、不安が拭えません。

さらには新たな心配事として、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻も起きています。ウクライナの人々、特に子供たちの苦しみや痛み、悲しみは、私たちの想像をはるかに超えるものと思われま

す。このような世界の動きは、つい先日まで世界の誰が予想していたでしょうか。現代の社会はあ

ってはならないことも含め、一瞬で誰も予想できない方向に進んでいきます。また、私たちの生活は、加速度的なデジタル化やAI技術の飛躍的な進化で大きく発展しました。これまでの現金を利用した買い物は大きく様変わりし、仕事も人の手や知識によってコントロールされたり、生成されたり、判断されてきたりした多くのことがロボットやAIにとって代わ

わっていて、これまでになかった新たな職業も誕生しています。さらには、少子高齢化の進行によって、働き手となる人口比率の減少とともに、これまでの社会福祉制度等に新たな動きが必要とされます。

これからの時代は、このように変化が激しく、先を見通すことが困難な時代になっていきます。子供たちは、これまで当たり前だったことや価値が、そのまま引き継がれるのではなく、新たな形や価値が創造されていく社会を生きていきます。

ただ、どんなに先が見通しにくく、社会の構造や価値が変容していこうとも、社会の変化に柔軟に対応し、周囲の方々と上手に協働し、自分なりの価値を創りながら夢をもって生きていってほしいと願っています。こうした思いは私だけでなく全ての親御さん、祖父母の方々がお持ちかと思

います。こうした「生きる力」を子どもたちに育むための教育環境を整えるのが、私たちの責任であると思っております。そこで、学校教育におきましては、子供たちに自ら目の前の事柄の中から問題点や改善すべき課題を発見する力、仲間と一緒に課題を解決する力、多様な視点から事象を見つめて新たな価値を創造する力等を育成していくことが求められています。

就学期に養われた、問題に主体的に取り組もうとする態度や能力は、将来子どもたちが大人になった時に必ずや生きて働く力となり、子どもたちの人生を支えます。

ただし、学校にこうした学びを成立させるには、相応の学習集団の中で持続的に実施されなければなりません。

こうした現状や今後あるべき学校像を鑑み、富士市教育委員会では、市内全ての学校において、豊かな教育の質を確保していくために、有識者や教育現場の代表、公募による市民等にご協議いただき、「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」を策定し、市内小中学校の適正化を進めております。

大淵第二小学校におきましては、これまでの学校教育の中で少人数のメリットを生かしたきめ細かな指導がなされ、温かな人間関係の中で子どもたちは安心して学び、学力をつけてまいりました。それが大淵第二小学校の良さであることは言うまでもありません。

しかし、一方で児童数の減少により複式学級の対象校となっており、今後少人数では、これからの時代を生きるために必要となる、多様な意見の持った多くの仲間と学び合いながら新たな価値を見出す力を育てていくためには、学び合える人数が十分ではありません。

これまで、子どもたちへの影響を最小限にするため、教員の加配等により複式学級の解消をしてまいりましたが、教員数の対応では学びの改善には至りません。また、今後の児童数のさらなる減少により、子どもたちを取り巻く教育環境はますます厳しいものになると考えております。

そこで、豊かな学びを成立させるための適正化の対象校として教育委員会から複数の案を出させていただき、保護者や地域住民の皆様からご意見を伺いながら、今後の学校のあり方について検討して参りました。

そして、これまでの趣旨と経過のもと、最終的な教育委員会の適正化への方針案を2月の教育委員会会議へ上程させていただき、そこで私と4人の教育委員で協議して、「大淵第二小学校は令和5年4月に大淵第一小学校へ編入する。ただし、令和4年度の新入生は令和4年度から大淵第一小学校に編入することとする。」と決定させていただきました。

この結論に至る過程の中で、様々な方法を検討しましたが、大淵第一小学校の児童とともに学ぶことが最も教育効果が高いと判断し、このような結論に達しました。

この方針決定に至るまでには、市長に適宜報告し、教育委員と市長とで協議をし、市長のお考えも伺いながら検討してきた経緯もあることをご理解いただきたいと思います。

令和5年4月の大淵第一小学校への編入については、今後様々な点について、配慮や検討、対応すべき課題があるものと承知しております。

その中の第一は、大淵第二小学校の在校生の児童たちの心への配慮です。令和4年度の2年生から5年生が、来年4月から大淵第一小学校への編入の対象となります。児童や保護者の皆様には、来年4月の統合に対して、大淵第一小学校で楽しく安心して学べるだろうかなど、様々な不安を抱えている方々が多いのではないかと思います。

そこで、今後1年間の中で大淵第一小学校との交流を深め、人間関係づくりを進め、ともに学ぶことに慣れてもらう中で、少しでも不安を解消し、むしろ大淵第一小学校での学びに期待が膨らむように取り組んでまいります。登下校におきましても、安全面をはじめ、距離や時間の負担についてもご心配かと思っておりますので、支援をしてまいりたいと考えています。

また、地域の皆様にとっても、防災やコミュニティなど、学校がまちづくりの大事な場所であることは十分承知しておりますし、卒業生の方々にとっては、長年慣れ親しんできた母校に対する惜別の情は耐え難い寂しさをもたらすものと思われれます。さらには、編入統合後の跡利用についても、どのように進め決定していくのかは、重要な課題であると認識しております。

こうした課題につきましては、今後とも保護者や地域の皆様のご意見を十分に伺ってまいりたいと考えております。

教育委員会といたしましては、児童や保護者、さらには地域の皆様に「統合してよかった」と思っただけできるよう、統合における豊かな学びを保障するとともに、課題となる諸事項について、全力を尽くしていくことをお約束申し上げます。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

富士市教育委員会 教育長 森田 嘉幸

• この件について、ご意見やご要望などがありましたら、富士市教育委員会教育総務課までご連絡ください。

